

# 「野の花の丘便り」8月下旬

## 真夏のピークは去った？

ツリガネニンジン、カワミドリ、エゾミソハギ、ヤマハハコ、エゾノコンギクなどが盛りを過ぎ、秋の花の代表ユウゼンギクがポツリポツリと咲き始めています。

オミナエシはあちこちで頑張って黄色い花を咲かせていますが兄弟分のオトコエシはDブロックの端っこでやっとかろうじて。一方Eブロックの奥にあるのはミソハギでしょうか、かたまりが年々大きくなり、赤い花が咲き始めています。そしてやっぱりあの厄介者のセイタカアワダチソウが今年も我が物顔で咲いています。ただBブロックはむきになって集中的に抜いてしまったすっきりとなりました。あいつがいなくなるとまわりが良くなる。

セイタカアワダチソウはさておきEブロックに何やら見かけない黄色いきくのような花を見つけました。調べてみるとどうもオオキンケイギクのようなようです。北アメリカ原産で繁殖力が強く、野生化して在来種を圧倒してしまうため、特定外来植物に指定されています。これもはびこる前に退治してする必要があります。

でもこんな招かれざる客、どこから侵入して来るのですかね。

少しづつ大きくなっていく  
Eブロックのエゾミソハギ



咲き始めました  
ユウゼンギク



大丈夫？ガンバレ  
オトコエシ



ほっとくとやばくなる  
オオキンケイギク

